

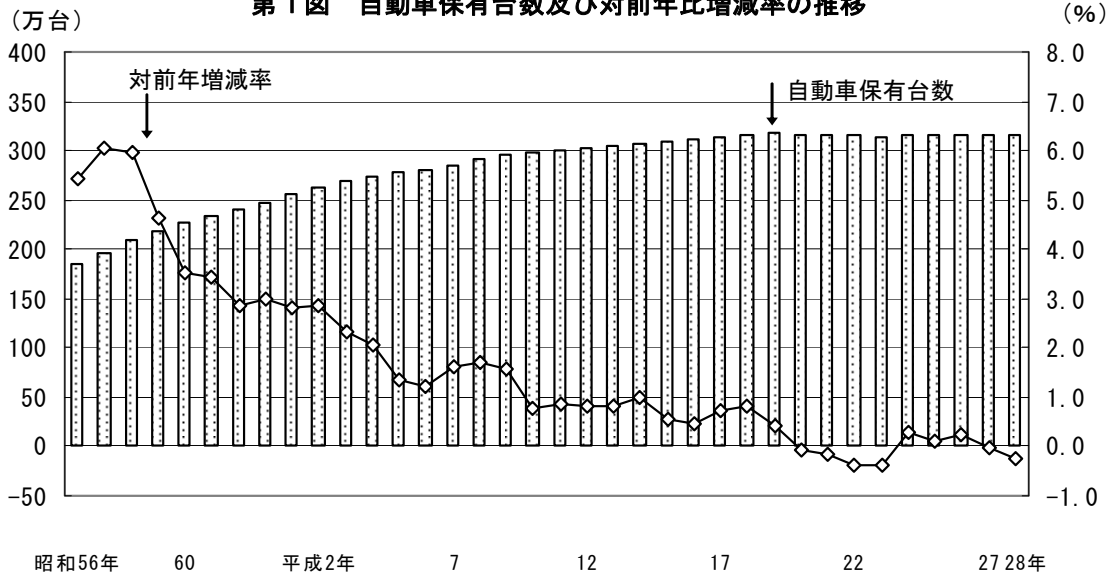
平成 28 年静岡県の自動車保有台数調査結果の概要

1 自動車保有台数

自動車保有台数は 3,149,488 台、2 年連続減少

平成 28 年 4 月 1 日現在の県内の自動車保有台数は、3,149,488 台で、前年 3,157,958 台と比べ 8,470 台 (0.3%) 減少となり、昨年との -0.01% に引き続き 2 年連続で前年より減少した。

第 1 図 自動車保有台数及び対前年比増減率の推移



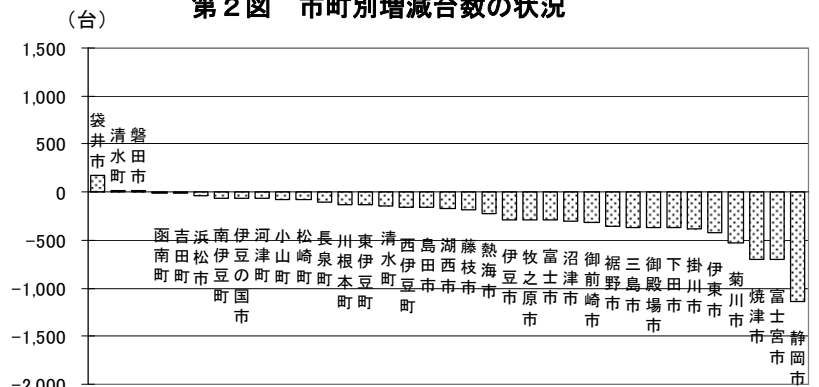
2 市町別自動車保有台数

3 市町が前年より増加、32 市町が前年より減少

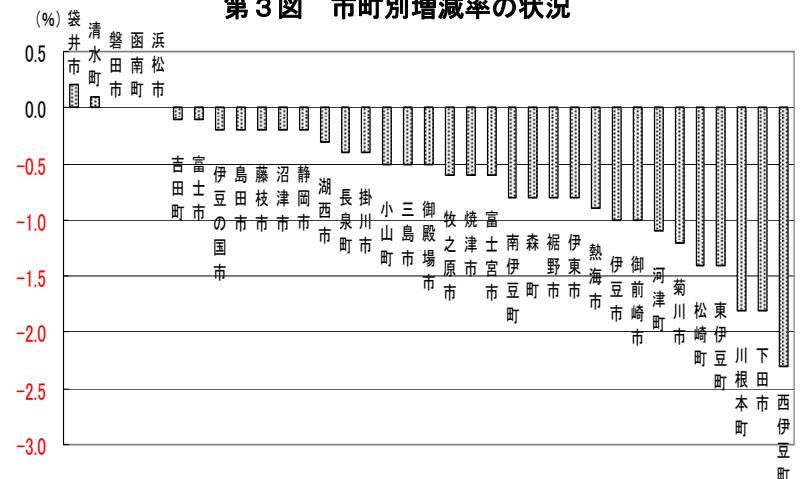
増減台数順位		
順位	市町名	増減台数
1	袋井市	172
2	清水町	21
3	磐田市	13
4	函南町	-15
5	吉田町	-17
～		
31	伊東市	-419
32	菊川市	-528
33	焼津市	-703
34	富士宮市	-707
35	静岡市	-1,144

増減率順位		
順位	市町名	増減率%
1	袋井市	0.2
2	清水町	0.1
3	磐田市	0.0
3	函南町	0.0
3	浜松市	0.0
～		
31	松崎町	-1.4
31	東伊豆町	-1.4
33	川根本町	-1.8
33	下田市	-1.8
35	西伊豆町	-2.3

第 2 図 市町別増減台数の状況



第 3 図 市町別増減率の状況



3 車種別自動車保有台数

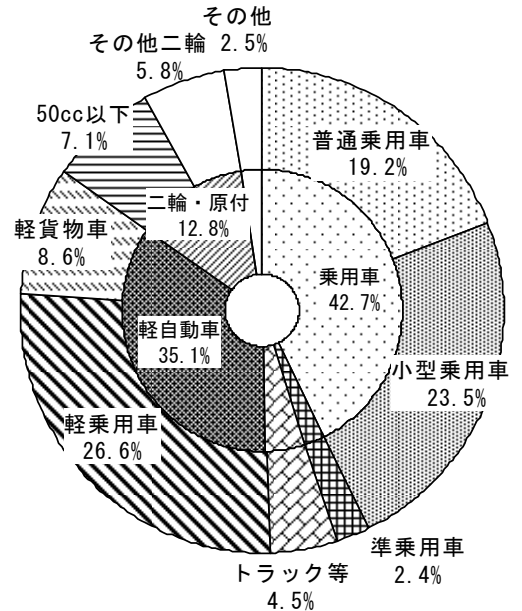
(1) 車種別構成比

軽乗用車と小型自動車が、4分の1ずつ占める

全体の42.7%が乗用車であり、次いで軽乗用車が35.1%を占める。前年と比較すると、軽自動車は0.5ポイントの増加、乗用車は0.1ポイントの減少、二輪・原付は0.4ポイントの減少となっている。

車種	台数	平成28年	前年
乗用車	1,345,085	42.7%	42.8%
（普通乗用車）	604,749	19.2%	18.9%
（小型乗用車）	740,336	23.5%	23.9%
軽自動車	1,106,193	35.1%	34.6%
（軽乗用車）	836,424	26.6%	25.9%
（軽貨物車・軽三輪車）	269,769	8.6%	8.7%
二輪・原付	403,192	12.8%	13.2%
（50cc以下）	223,619	7.1%	7.4%
（その他二輪）	179,573	5.8%	5.8%
トラック等	141,978	4.5%	4.5%
準乗用車（貨客兼用小型自動車等）	74,385	2.4%	2.4%
その他（バス、特車等）	78,655	2.5%	2.5%
計	3,149,488	100.0%	100.0%

第4図 車種別構成比



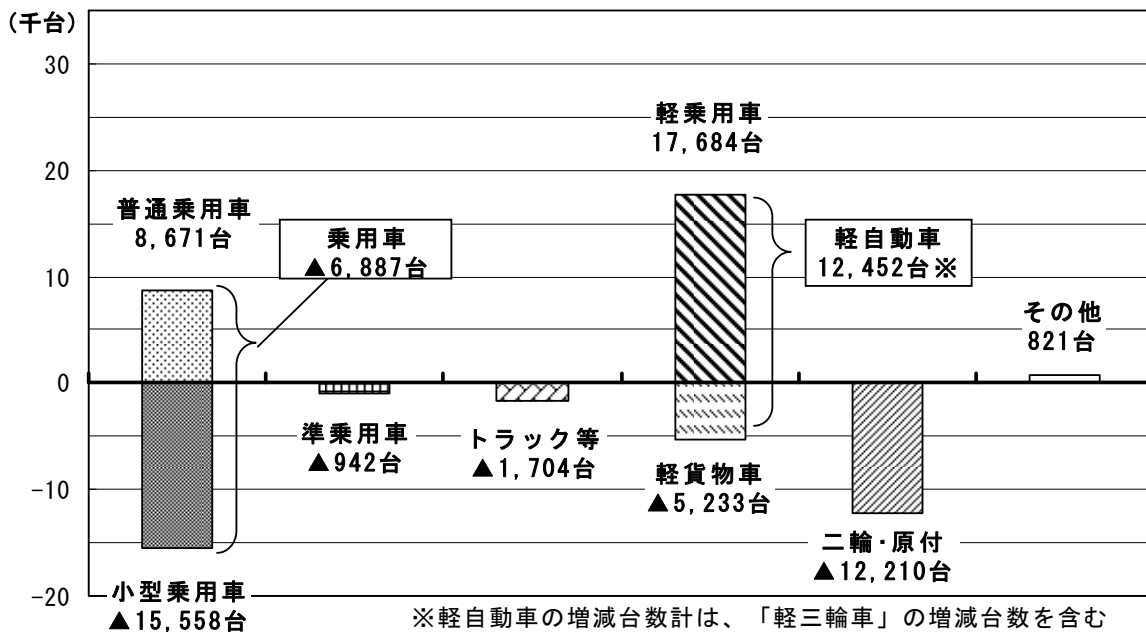
(2) 車種別対前年増減台数

昨年より小型乗用車が減少、軽乗用車が増加

車種別台数を前年と比較すると、普通乗用車は増加しているが小型乗用車の減少が大きく、乗用車全体では6,887台の減少となっている。

また、軽自動車は軽貨物車が減少しているが、軽乗用車の増加により12,452台の増加となっている。

第5図 車種別対前年増減台数の状況



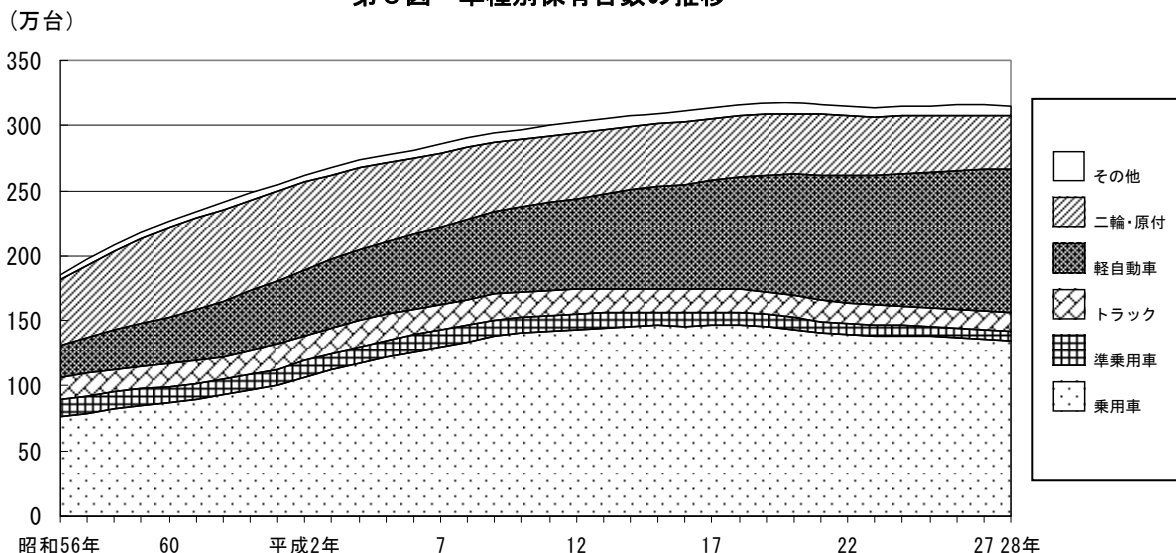
※軽自動車の増減台数計は、「軽三輪車」の増減台数を含む

(3) 車種別保有台数の推移

軽自動車は39年連続の増加、乗用車は4年連続の減少

車種別台数の推移を長期的にみると、軽自動車は、昭和53年から39年連続で増加して、平成28年の保有台数は、1,106,193台となった。また、乗用車は4年連続で減少して、1,345,085台となった。

第6図 車種別保有台数の推移



4 電気自動車等の状況

(1) 電気自動車等自動車保有台数

全体に占める割合は6.0%、乗用車に占める割合は14.0%

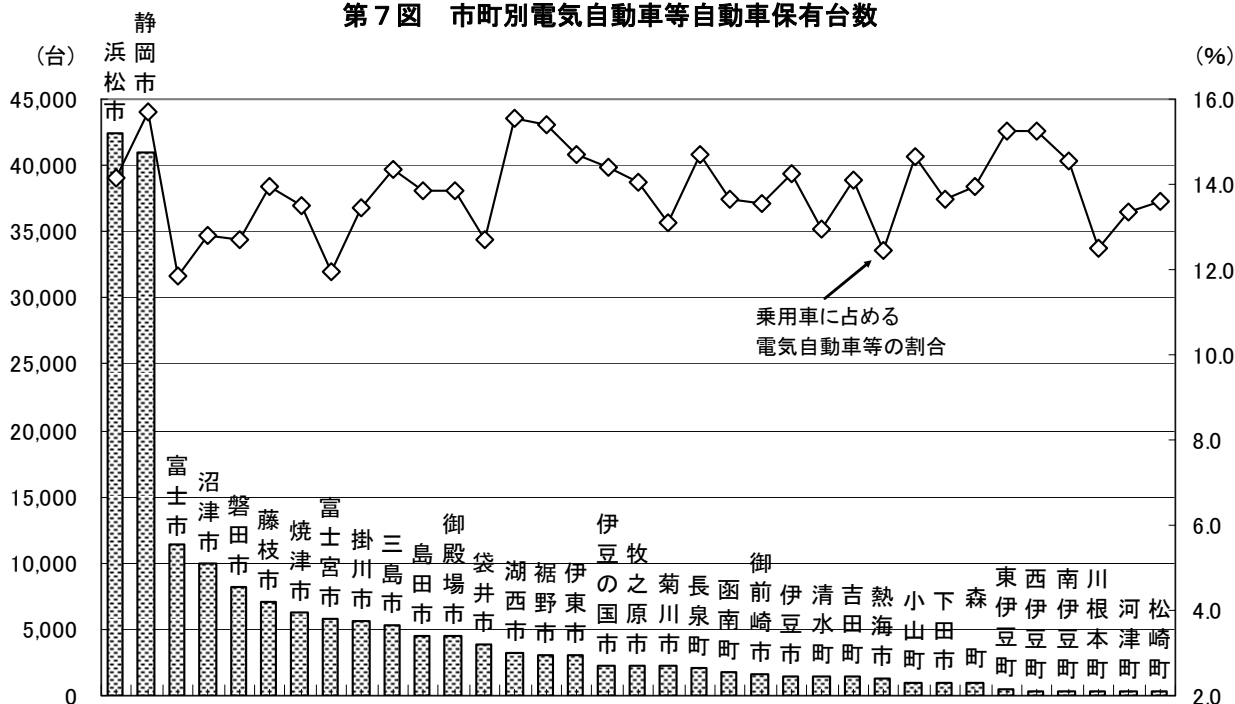
電気自動車等は県全体でみると188,074台あり、全車種に占める割合は6.0%(対前年比1%増)となり、乗用車のみでは14.0%(同2.4%増)となっている。

(2) 市町村別台数

上位3市が県全体の5割を占める

市町別に電気自動車等自動車保有台数をみると、浜松市42,366台、静岡市41,021台及び富士市11,426台の上位3市の合計台数が県全体(188,074台)の5割を占めている。

第7図 市町別電気自動車等自動車保有台数



注) 折れ線は、各市町別の全乗用車数に占める電気自動車等乗用車数の割合(%)を表す。

5 自家用乗用車の状況

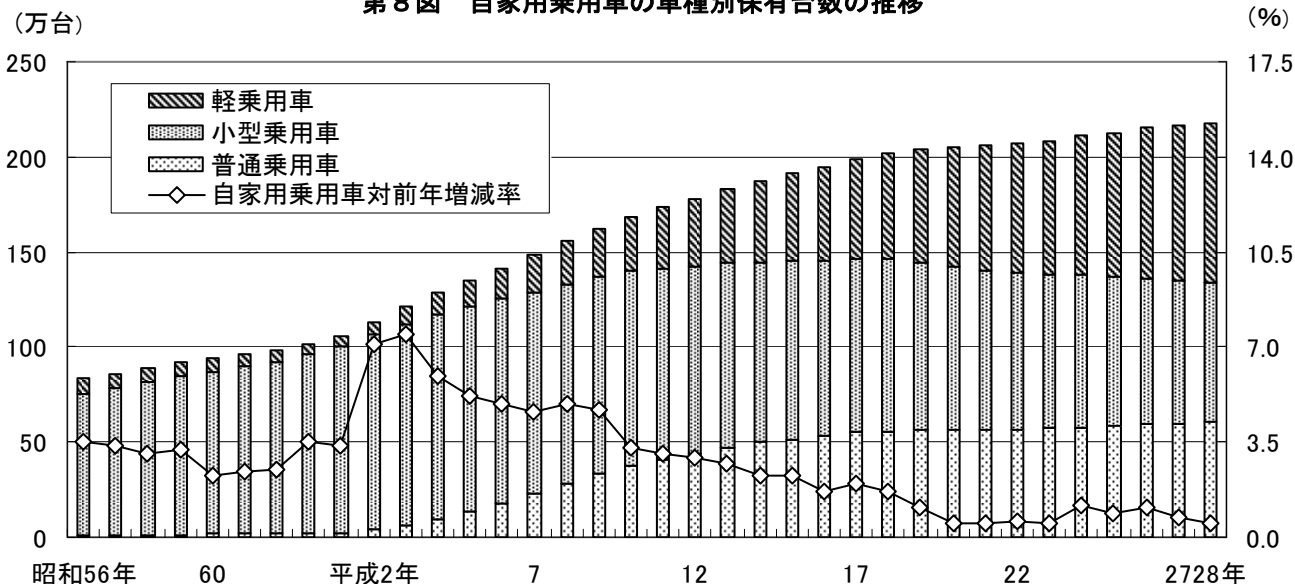
自家用乗用車は前年に比べ0.5%の増加

自家用乗用車（乗用車のうち自家用のもの及び軽乗用車）は2,176,421台で、自動車全体の69.1%を占めており、前年の2,165,565台と比べると10,856台(0.5%)の増加となっている。

自家用の軽乗用車は、27年連続の増加

自家用乗用車の内訳を長期的にみると、軽乗用車は平成2年から一貫して増加し、小型乗用車は平成5年をピークに減少を続けている。なお、普通乗用車は、平成21年に調査開始以降初めて減少したが、平成22年以降再び増加傾向を示している。

第8図 自家用乗用車の車種別保有台数の推移



自家用乗用車1台あたり人口及び1世帯あたりの自家用車保有台数は横ばい

自家用乗用車1台あたりの人口は1.70人で、前年から横ばいとなっている。また、自家用乗用車の1世帯あたり保有台数は1.52台で前年から0.01台増加している。

第9図 自家用乗用車1台あたり人口及び世帯あたり保有台数の推移

